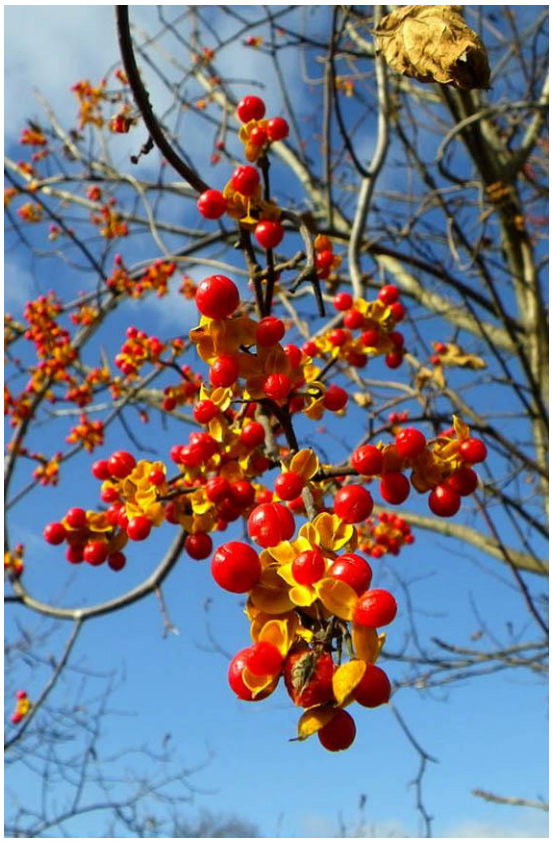
月刊やちまなこ

2013.11.15 発行
No. 192
11 月号

釧路湿原国立公園　塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



強風と雨により、丘陵地の紅葉も落ちてしまい、黄金色に輝くカラマツが初冬の空に彩りを添えている。氷点下の気温となった湖には薄氷が張り、近くでは水鳥たちが羽を休めていた。その時、ポーンといった銃声が湿原を駆け抜けるように聞こえた。

コッタロ川と湿原のほとりから

161　11月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住．中本　アキ子（文）　中本　民三（写真）

“丹頂の吠え声高し息白し”この頃の，霜枯れた庭を彩るものと云えば深紅に染まった全身を恥らう様に揺らしている雪柳をおいて他に見当たりません。矢継早に北上した子沢山台風と急速に発達して猛烈な暴風雨をもたらした低気圧の相次ぐ通過で，最早山も湿原も寂寞たる風景をさらしております。増水したままの川にはウグイの入れ食いあり，はたまた，大海からの鮭の回帰ありで大わらわ。珍事の第一号は一コブウグイでした。魚体の一部を食いち切られたのを釣り上げた例はありましたが，このコブにはギョ魚！！。ツルのエサ用に切り分け乍ら調べたところでは，何の変哲もないただの魚肉で，またたく間にツルハシの中へと消えてしまいましたよ。

一方，釧路川に流入する大小の支流という支流を埋め尽くす様にそ上してくる鮭の数と，川の中を所せましと縦横無尽に泳ぎ回って尾ビレを叩きつけ乍ら水しぶきを上げ他の♂を追い払う鼻曲がり（♂鮭）の精悍な面構えに見とれていると，目と目が合ってドキッ！パチリ！！その川床を落ちついてよくよく見れば，それもそのはず，夥しい筋子（卵塊）が文字通り筋を成して，イクラでも漂っているではありませんか。残念乍ら，それは写真よりもＤＶＤの方がより鮮明でした。おかげをもちまして，山のクマさん方も安心して冬眠することでしょうね。大いなる自然の神々に感謝々々。

ところで，冬鳥達の渡来はすでに始まっておりますが，我家の庭へ飛来した№１．はホオジロ２羽で雀の群と共にエサをついばんでおりました。顔面にホオジロ特有の白い眉状を確認する迄，雀との区別がつかず，枯木に止まった所をようやく撮ることが出来ましたので御覧下さい。来たるべき雪の季節にどんな珍鳥が見られるか楽しみに暮らしております。

湿原の住人たち　その１５２

カンムリカイツブリ

カイツブリの仲間の中では一番大きなカンムリカイツブリが、11 月上旬から塘路湖で羽を休めていました。ここでは繁殖地と越冬地の移動途中に渡来する数羽を稀に観察できる程度です。冬羽の今は、頭にある冠のような羽毛と、顔、頸の前側、胸にかけての白い部分と頸の後ろ側の黒色が特徴となって存在をアピールしてくれます。写真は 10 日の暴風雨後に現れた、顔に黒斑がある幼鳥で、何度も潜水して採食していました。

芸術の秋を楽しみました

「散策と絵手紙を楽しむ秋の釧路湿原」を１０月２６日に開催しました。乾燥させた葦を斜めにカットして作った葦ペンを使って、周辺で集めた菱の実や落ち葉を題材に描いた参加者の作品です。

神秘な音色が出るかな！？

今月９日、「ムックリ（口琴）を作ろう」を開催しました。ムックリはアイヌの人が使っていた竹製の楽器で、口に当たる部分が紐を引っ張ることで振動しながら独特な音色を発するものです。講師の諏訪良光さんから彫刻刃を使い振動させる部分を約 0.8 ミリの厚さに削る作業を教わりましたが、中には削り過ぎて音が低くなってしまったものもありましたが、最後に紐をつけて全員完成させました。口を開け紐を引っ張っても音が出ず苦戦しましたが、諏訪さんから「練習あるのみ」とアドバイスがありました。

つぼっちの塘路周辺うろうろ日記　　Vol.71「釧路川にヒブナ！？。」

今年は台風の多い年となり、釧路地方も大きな災害に見舞われました。

少し前のことですが、今年９月１６日に台風１８号が来た時に釧路川の水が増水し、標茶市街の河川敷に多くの川魚がうちあげられた事がありました。その中に体長約１２センチの金魚のような魚が見つかり、ヒブナではないかと郷土館へ持ちこまれました。ヒブナはその名の通り緋色をしたフナの一種で、春採湖ヒブナ生息地が国の天然記念物として知られています。結局そのヒブナ疑いの魚は、詳しい同定をする前に死んでしまいましたが、その折に研究者の方から塘路湖でもヒブナが見つかっていると言うお話を伺いました。先日塘路の漁師さんに聞いてみると「３５年ぐらい前に網にかかった事がある」とのお話。

塘路湖でかつて放流し近年まで確認されていたウナギと同様、幻の魚ですね。

標茶市街で見つかったヒブナの疑いのお魚。死んだ後も釧路市立博物館にて保管されています。後日、詳細な分析がされる事でしょう。

坪岡　始（標茶町郷土館学芸員）

１２月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

松ぼっくりでツリーを作ろう

［日時］１２/７（土）11：00～15：00
［定員・参加料］８名、６００円
［場所］塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム
［持ち物］枝切りばさみ、エプロン、昼食
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪申し込み問い合わせは　塘路湖エコミュージアムセンターまで　℡ 015-487-3003

リースを作ろう　　［日時］１２/８（日）　13：00～15：00
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪申し込み問い合わせは　温根内ビジターセンターまで　℡ 0154-65-2323

塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【 植物 】(10/20)ニシキギの実（10/23)カラマツの黄葉（10/27)コクワの黄葉（11/4)ガマの穂の綿毛.オオウバユリのタネが風に舞う.イケマのタネ.ヤチハンノキの雄花

【 鳥 】(10/18)ヒシクイ.オオハクチョウ.カワアイサ.オオバン.ノスリ（10/25)ユリカモメ.ハクセキレイ(10/26)セグロセキレイ（10/27)オジロワシ.タンチョウ.アオジ.ムクドリ.ヒヨドリ.マガモ（10/28)アオサギ.ホオジロガモ（10/29)ミヤマカケス.シマエナガとシジュウカラ.ゴジュウカラの混群（11/4)カンムリカイツブリ.シマエナガ.コゲラ（11/5)ミコアイサ.ウミウ.カイツブリ（11/6)ワタリガラス

【その他】(10/17)雌阿寒岳初冠雪（10/21)オスジカ.エゾアカガエル（10/22)エルタテハ（10/27)エゾタヌキの死骸.エゾシカの死骸（10/28～29)道道 1060 クチョロ原野塘路線クチョロ原野（バリケード）～サルボ 1-4（ゲート）間 8.2 ㎞道路滞水/冠水のため通行止め　(10/29)キトンボ.ユキムシ（11/4)コッタロ展望台付近でヒグマの目撃情報（11/6)鮭の死骸（11/9)エゾリス（11/11)エゾタヌキ（11/14)標茶の最低気温氷点下 8.6℃

■通行止めのお知らせ
道道 1060 クチョロ原野塘路線のコッタロ（バリケード）からクチョロ原野（バリケード）間の 3.2km は、台風 18 号の影響による法面決壊のため、11 月 14 日現在、通行止めになっています。
国道 391 号線の塘路側からコッタロ湿原展望台までは行けますが、その先は通り抜け出来ません。

◆日出・日入時間　11/15(6:14,15:59)．11/30(6:32,15:49)．12/14(6:46,15:48)

木のコブ？（実はスズメバチの巣でした）

釧路湿原国立公園
塘路湖エコミュージアムセンター　あるこっと
〒088-2264　北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL:015-487-3003　FAX:015-487-3004
E-mail:emc@hokkai.or.jp
開館時間 10：00～16：00（4 月～10 月は 17：00 まで）
休館日:毎週水曜日 12 月 29 日～1 月 3 日　　入館無料